

沖縄県の幼児教育の 現状と今後の方向性

沖縄県教育庁義務教育課

本日の内容

1 沖縄県の幼児教育の現状

2 今後の方向性

(1) 幼児教育の質の向上

(2) 保幼こ小の円滑な接続の推進

はじめに

多様化する環境の中で、沖縄の子どもたちは育まれている

令和7年4月時点
令和7年度学校一覧
沖縄県内特定教育・
保育施設等一覧より



公立・私立幼稚園：127



幼稚園型/幼保連携型/
保育所型認定こども園：251



家庭的保育事業所：9



事業所内保育事業所：33



保育所・保育園：408



小規模保育事業所：182

1010

多様な施設類型の園それぞれの特色や実態を踏まえた
訪問・研修・事業の実施が求められている

幼児教育班 推進体制 R8

幼児教育の質の向上

～ 要領・指針に基づく教育・保育 ～

保幼こ小の円滑な接続の推進

～ 幼児期の学びを小学校以降へつなぐ ～

こども未来部
子育て支援課

市町村

教育庁義務教育課 **幼児教育班**

教育庁
県立総合教育センター

教育庁教育事務所
(6地区)

「沖縄県の幼児教育センター」としての機能

① 研修

【研修の質の向上・効率化】

- 法定研修
- 幼児教育合同研修会
- 子育て支援員研修
- 保育士等キャリアアップ研修
- 保育スキル向上研修
- 園長等運営管理協議会
- 幼児教育研究協議会
- 保育技術協議会
- 幼児期の学びを生かした授業研究会

② 市町村支援

【市町村研修・園訪問支援の充実】

【市町村幼児教育アドバイザー・架け橋期のコーディネーター等の資質向上】

- 研修会支援
- 訪問支援(園・小学校訪問支援)
- 架け橋期のカリキュラム開発推進会議
- 「県黄金っ子架け橋サポートガイド」の活用
- 「県幼児教育リーフレット」の活用

③ 連携体制の強化

【市町村教育委員会・保育主幹部局、市町村間、園と小学校、養成校・各団体間の連携】

- 幼児教育アドバイザー等連絡協議会
- 幼児教育アドバイザー等スキルアップ研修会
- 保育者育成協議会
- 市町村幼児教育担当者連絡協議会
- 教育事務所等幼児教育担当者連絡協議会






令和8年度 沖縄県幼児教育施策推進事業

沖縄県架け橋期 コーディネーター等派遣事業

沖縄県教育庁義務教育課

1. 事業の目的

沖縄県が掲げる「幼児教育の質の向上」と「幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進」を図るため、専門の架け橋期コーディネーター・登録制アドバイザー・指導主事（派遣者）が、市町村行政機関や幼児教育保育施設、小学校（対象施設）からの依頼に応じ、現場に寄り添った研修会支援や訪問支援を実施します。

2. 2つの支援メニュー（複数回申込可能）

① 研修会支援



【研修1】 幼児教育の質の向上について
（担当：県架け橋期コーディネーター、幼小接続アドバイザー）

【研修2】 幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について
（担当：指導主事、県架け橋期コーディネーター、幼小接続アドバイザー）

【共通】 架け橋期プログラム・カリキュラムについて

研修後の 振り返りより

子どもの主体性」と保育の本質についての再確認

単に自由にさせるのではなく「主体とは何か」「意図的な環境構成とは何か」を深く問い直す機会となり、子どものつぶやきや行動の意味を丁寧に読み解く重要性を改めて実感できた。

実践的で広がりを感じるグループワーク(対話と共感)

仮想ミニ園内研修（1枚の写真を使った見取りなど）を通して、立場や施設種別（公立・私立・こども園・保育園・幼稚園）を超えた多様な視点・捉え方に触れ、多くの学びと共感が得られた。

自園の保育振り返りと「園内研修」への具体的なヒント

対話しやすく全員が発言できる研修の進め方や「語り合い」の工夫を体験でき、「明日からの園内研修で早速実践したい」「職員間で子どもの姿を語り合い記録に残したい」という前向きな意欲につながった。

リーダー層・管理者としての役割やマネジメントへの気づき

主任・主幹・園長といった立場ならではの悩みや課題を共有でき、職員の強みを活かす職場づくりや「園長・リーダー自身が保育を楽しみハッピーオーラを出すこと」の大切さを学べた。

地域の保幼小連携・横のつながりの強化

校区内や市内の他園の取り組み・保育観を知ることで、情報共有や「就学前（架け橋期）」を見据えた全体での支え合いの意識が高まり、地域全体で保育を盛り上げていく連帯感が生まれた。

講師への感謝と安心感のある雰囲気わかりやすく心に響く講話に加え、終始あたたかくワクワクするような雰囲気づくりのおかげで、初心に帰り「早く子どもたちの笑顔に会いたい」と思える勇気と元気をもらえた。

② 訪問支援



幼児教育保育施設 向け
 架け橋期プログラム・カリキュラム、
 乳幼児理解、環境構成、保育者の援助、
 指導計画等

公立小学校 向け
 架け橋期プログラム・カリキュラム、
 幼児期の学びをつなぐ授業改善

3. 訪問支援活用モデルプラン

施設や学校の状況・目的に合わせて、以下のプランを組み合わせでご活用いただけます。

プランA
 保育・授業参観
 による助言



プランB
 研修会
 (園内・校内研修)の
 実施による助言

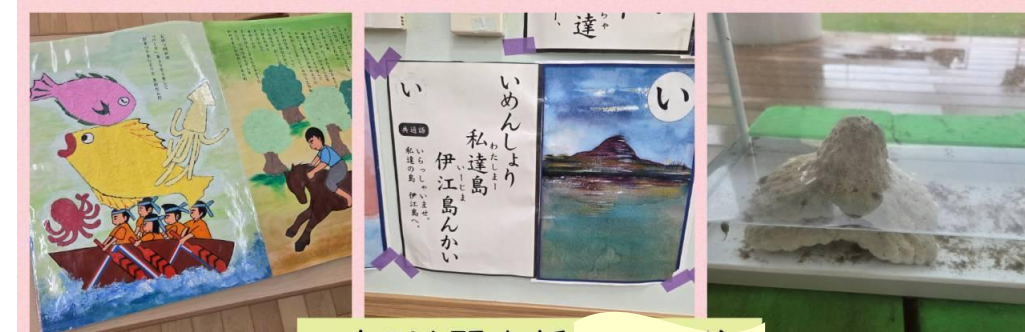


プランC
 参観 + 研修会の
 組み合わせ
 推奨



プランD
 登録制アドバイザー
 (特別支援)との連携
 による助言

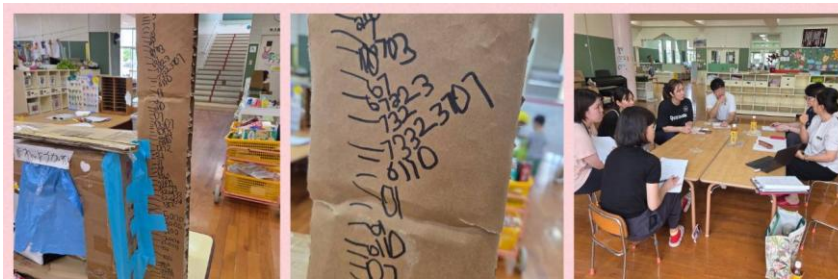
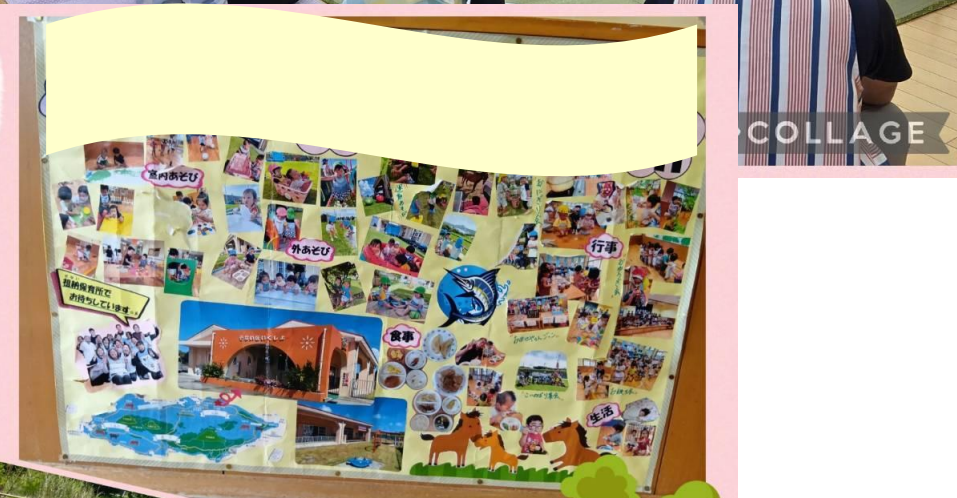




6/17訪問支援

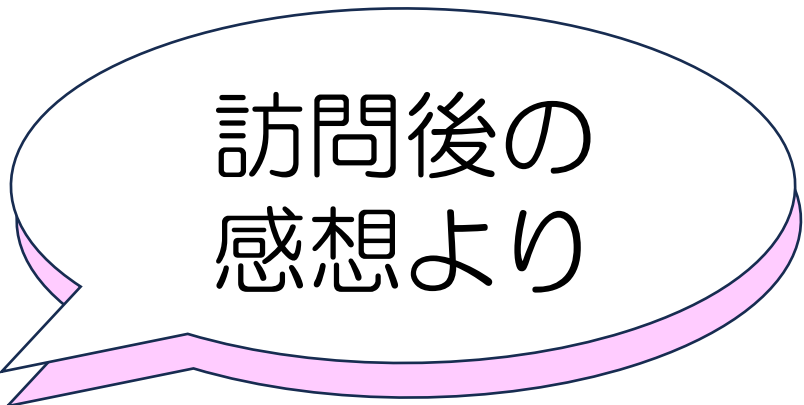


20260721
園訪問支援



自園の強みの再発見と自信の向上

第三者の客観的な視点から日頃の保育や職員の頑張りを褒めていただいたことで、自分たちの保育への確信と自信を得ることができました。



訪問後の
感想より

「主体性を育む環境構成」への深い納得感

子どもが自発的に遊びたくなる環境づくりや試行錯誤できる設定が、そのまま「思考力」や「小学校への滑らかな接続」へつながっていることを学び、これまでの方向性に確信が持てました。

年齢・発達に応じた具体的なアドバイスの獲得

「愛のある待ち」の実践（3歳児）や「長さ以外の面白さへの気づき」（5歳児）、手作り玩具のリニューアル（0歳児）など、各クラスの明日からの保育に直結する具体策が得られました。

寄り添った対話による課題の明確化とモチベーションUP

あたたかく労いのこもった助言により、職員の迷いや不安が解消され、「チーム力」を高めてより良い環境を作っていこうという前向きな意欲が湧きました。

保育指針・学びの再確認と計画への反映

「3つの柱」や「10の姿」を改めて学び直す契機となり、行事の精選も含め、子どもに負担のない意図的な指導計画の作成・見直しへのモチベーションが高まりました。

現場の実践により深まる 「遊びを通した学び」

自発的な
環境への
関わり

試行錯誤

探究心

優しさの
芽生え

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた実践は、
県内各地で確実に深まっています。皆様の日々の保育の賜物です。

2 今後の方向性

(1) 幼児教育の質の向上

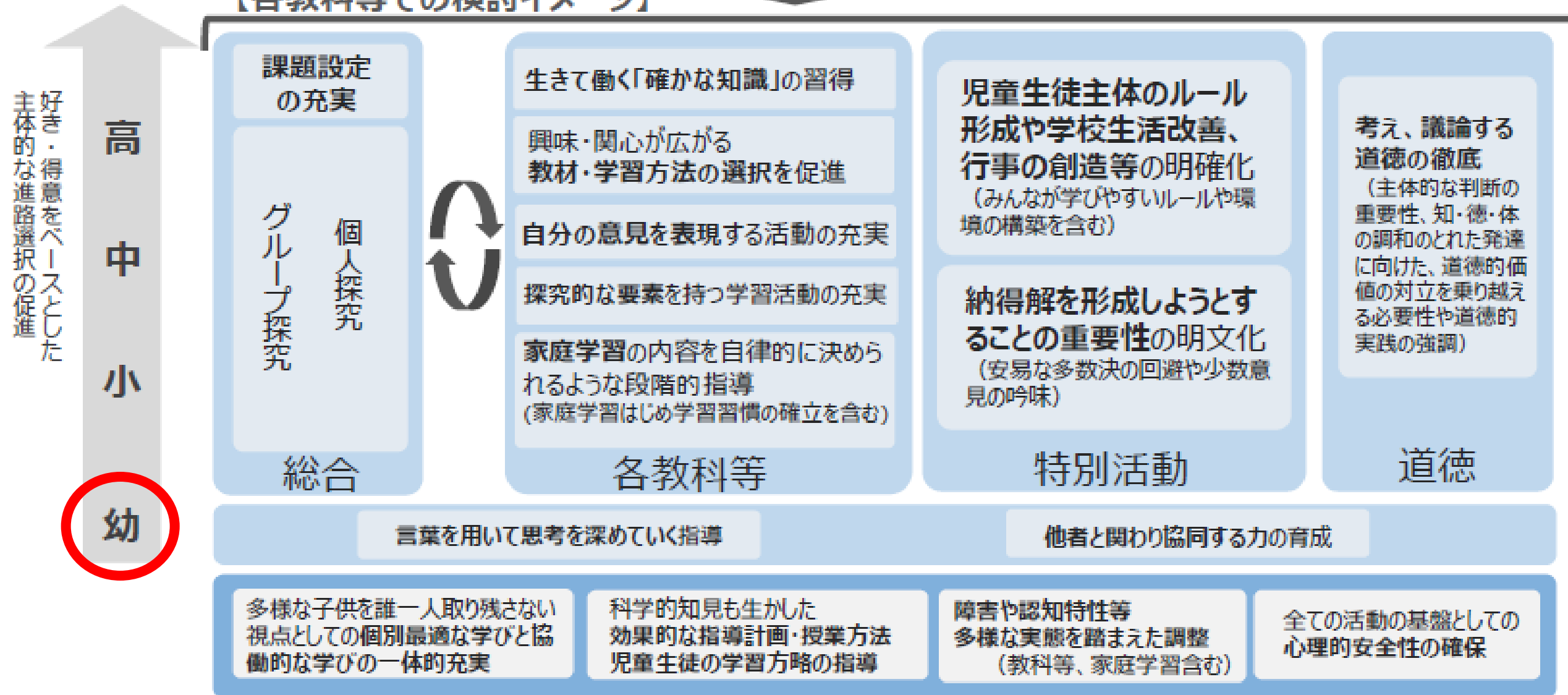
(2) 保幼こ小の円滑な接続の推進

「好き」を育み、「得意」を伸ばす
（興味・関心）

×

当事者意識を持って、自分の意見を
形成し、対話と合意ができる

【各教科等での検討イメージ】



学びをデザインする高度専門職としての教師
「裁量的な時間」をはじめ柔軟な教育課程による余白

デジタル学習基盤をはじめとする基盤整備
総合的な勤務環境整備

令和7年度調査から見えてきた、日々の保育の現在地

現状の傾向

日々の
情報交換

口頭共有や紙媒体が中心。
「その場限り」「個人依存」
になりやすい。

各期の
振り返り

学期末などにまとめて実施。
行事の反省が中心になりがち。

質の向上に
向けた研修

個人の研修参加は多いが、
園全体の実践改善に
繋がっていない例も。

これからの鍵

ICTの活用も視野に、気づきを蓄積し
「次の計画や園全体の改善」へ
つなげる。

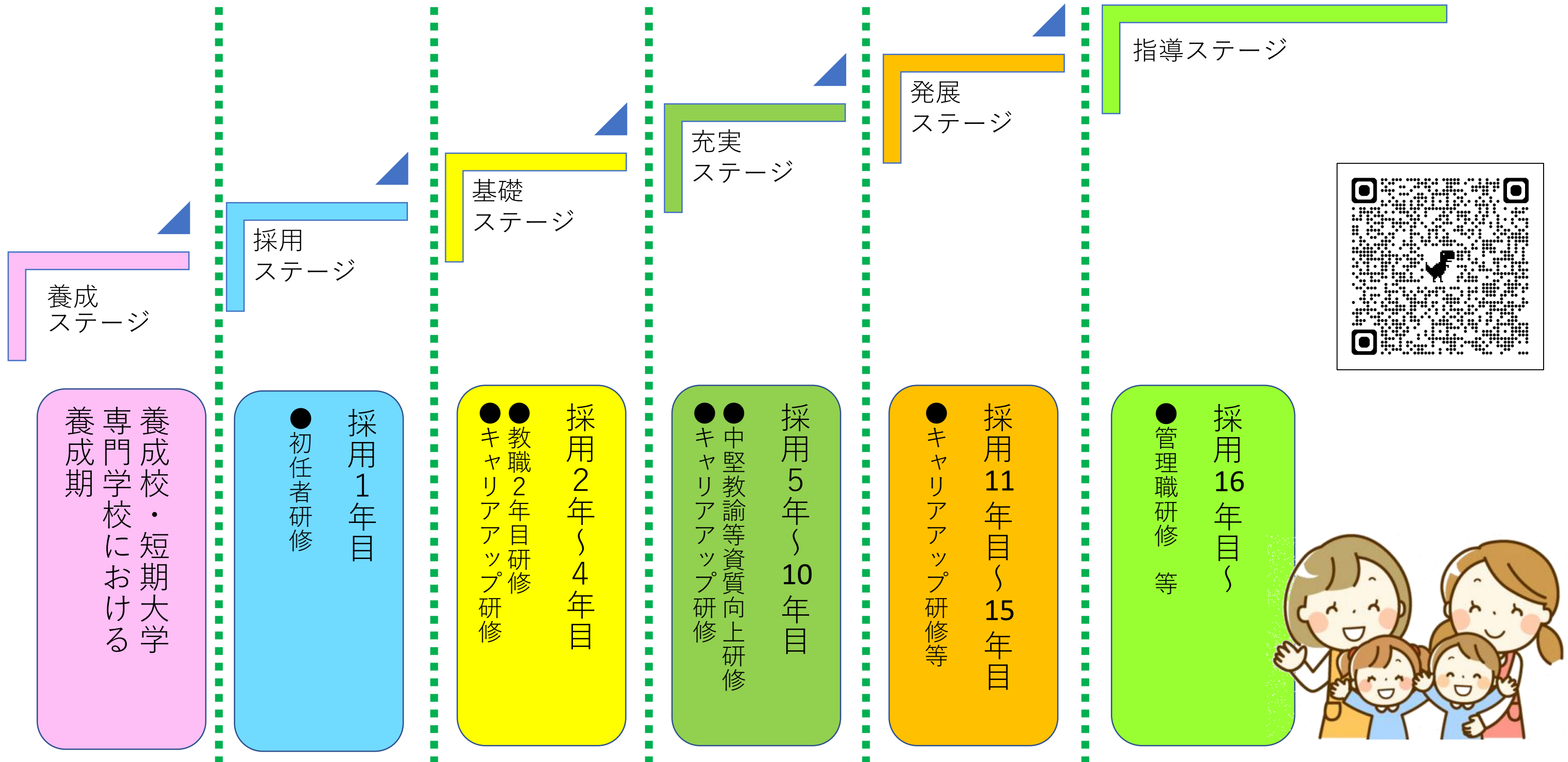
「評価のため」ではなく、
幼児の「育ちの変容」に焦点を当てた
「改善のための振り返り」へ。

学びを「点」で終わらせず、
園内共有を通して「線や面」の
組織的な改善へ広げる。

幼児教育の質の向上

～ 要領・指針に基づく教育・保育 ～

「沖縄県保育者育成指標モデル」



幼児教育の質の向上

～ 要領・指針に基づく教育・保育 ～

② 訪問支援



幼児教育保育施設 向け

架け橋期プログラム・カリキュラム、乳幼児理解、環境構成、保育者の援助、指導計画等

公立小学校 向け

架け橋期プログラム・カリキュラム、幼児期の学びをつなぐ授業改善



随時募集しています。
ご活用ください

県内幼児教育保育施設の皆様へ

令和8年度

園訪問支援の案内



園内研の
充実

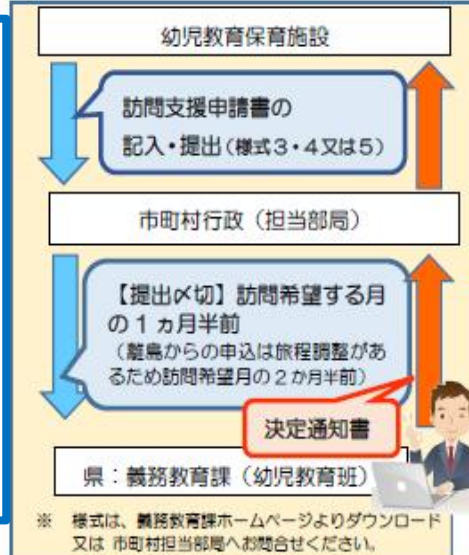
教育・保育
の向上

『訪問支援』とは…

申込みいただいた各施設へ訪問し、先生方の保育に係る悩みや相談（環境構成や援助、指導計画について等）に対し、具体的な助言や支援を行うことが主な内容です。
各施設のニーズに応じた支援に努めておりますので、活用について、ぜひご検討ください。

積極的なご活用を！

● 申込方法（訪問支援）



● 相談内容（例）

- 乳幼児の発達の理解、援助等について
- 発達の特性を踏まえた指導計画の作成について
- 特別な支援を要する子の理解と援助について
- 幼児教育と小学校教育の接続について
- 幼児期の学びをつなぐ授業改善に関すること…など

幼児教育班では、県内の全幼児教育保育施設 及び 小学校を対象に 幼児教育・保育の質の向上や円滑な幼小接続の実現をめざし、県架け橋期コーディネーター・登録制アドバイザー・県指導主事による訪問支援（オンライン相談会も可）を行っています。



* 『研修会支援』とは、市町村行政が主催する研修会への支援を主とするものです。

● 訪問支援当日の流れ（例）

時間	内容
10:00	・保育参観
10:45	・園長と架け橋期コーディネーターとの懇談
11:15	・保育者と架け橋期コーディネーターとの相談会
12:00	・訪問支援終了

※ 時間や内容については、申請時及び申請後（訪問前）の調整も可能です。

訪問支援後は、『事後報告書』（様式5）の提出をお願いします。

* 相談内容に応じ、担当助言者を決定します。
* 令和8年度も、登録制アドバイザー（架け橋期コーディネーター、特別支援教育、幼小接続アドバイザー）による専門的な支援に努めます。

※ 年度により、実施方法（実施要綱）に変更がある場合もあります。最新の情報は、義務教育課ホームページ又は下記担当までお問い合わせください。

【本事業担当】県教育庁義務教育課（幼児教育班）TEL 098-866-2741

みなさまの「学び」や「子どもたちの育ち」をサポートします！

訪問支援の流れ

申請から訪問支援、事後報告書の提出までの流れをご案内します。

STEP

1

幼児教育保育施設・小学校から

訪問支援申請書の提出
(様式3又は様式4)

→ 市町村行政（教育委員会／担当部局）

訪問支援を希望する施設・小学校は申請書をご提出ください。

STEP

2

市町村行政（教育委員会／担当部局）

→ 義務教育課（幼児教育班）

【提出必切】訪問を希望する月の1ヵ月半前

※離島からの申請は旅程調整の為、2ヵ月半前

申請内容を確認後、義務教育課へご提出ください。

STEP

3

義務教育課（幼児教育班）から決定通知

→ 市町村行政（担当部局）→ 幼児教育保育施設・小学校

決定通知が届いたら、訪問先のご担当者へ、訪問日の1ヵ月前までに義務教育課担当者へご連絡ください。講師（コーディネーター等）との事前調整をお願いします。

STEP

4

訪問支援を実施

訪問支援当日は、対象施設の実態把握及び支援内容や方向性等を共有するため、市町村担当者（代理可）の同行をお願いいたします。

STEP

5

訪問支援後は、

「事後報告書（様式5）」の提出をお願いします。

時間、内容については、申請時及び申請後（訪問前）の調整も可能です。お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先 県教育庁 義務教育課 幼児教育班 ☎ 098-886-2741

申込フォームは、県教育庁ホームページに掲載しておりますので御活用ください

保幼小の円滑な接続の推進

～ 幼児期の学びを小学校以降へつなぐ ～

見えてきた次なる壁：「接続」への戸惑い

「遊びの中で育った豊かな育ちを、具体的にどう小学校へ伝えたらよいか…」



「幼児期に培ってきた力をどう受け止め、1年生の学びに生かせばよいか…」



「遊びを通した学び」は定着した。

しかし、その「育ち」をどう伝え、どう受け止めるかという連携に迷いが生じています。

保幼小の円滑な接続の推進

～ 幼児期の学びを小学校以降へつなぐ ～

幼児教育

(遊びの中で考えを伝え合う)

小学校教育

(教科の中で思考・表現を深める)

保育者の
言葉掛け

子ども同士
の対話

教師による
見取り

幼児教育と小学校教育は独立した場所ではありません。
一人の子どもの育ちを支える「一つの連続した営み」です。

保幼こ小の円滑な接続の推進

～ 幼児期の学びを小学校以降へつなぐ ～

子どもの「やりたい」と「やってみたい」を引き出し、 子どもの夢と保育者の願いを実現する保育の創造

— 子どもを観て 子どもを語り 子どもから学ぶ保育者 —
「遊びは学び」

幼児期の子どもは「学びの芽生え」の時期といわれ、学ぶことを意識しているわけではなく、
楽しいことや好きなことに集中することを通して様々なことを学んでいきます。

★幼児教育の基本★

幼児期に
ふさわしい生活

環境を通しての
総合的な指導

一人一人の
発達に応じた指導

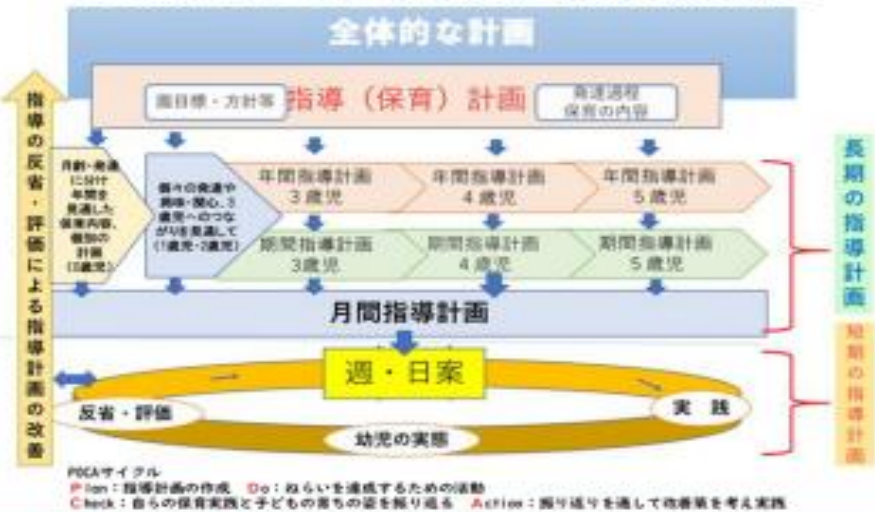
幼児教育の現場では、
子どもの「やりたい」が
尊重され、遊ぶ（学ぶ）ことが
保障されているんだよ。

乳児から幼児へ育ちのつながり
— 要領・指針に基づいた保育実践 —

乳児期に係る 3つの視点	満1歳以上満3歳未満に係る 5つの領域	満3歳以上に係る 5つの領域
健やかに 伸び伸びと育つ	健康	健康
身近な人と 気持ちよく接する	人間関係	人間関係
身近なものと 関わりが深くなる	環境	環境
	言葉	言葉
	表現	表現

◇視点・領域 → 発達の特徴を踏まえ、教育及び保育のねらい及び内容を乳幼児の
発達の側面からまとめたもの
◇ねらい → 教育及び保育において育みたい資質・能力を園児の生活する姿
から捉えたもの
◇内容 → ねらいを達成するために指導する事項
◇内容の取扱い → 発達の特徴を踏まえた指導を行うに当たって留意すべき事項

PDCA サイクルによる教育・保育の質の向上



保育の質の向上
— 主体的・対話的で深い学びの保育実践 —

関わる	興味・関心	あれ？ おもしろそう
考える	課題発見 思考力	なぜだろう？ 不思議だな？
試す	探究心 観察力	どうしてかな？ やってみよう
分かる	達成感 成就感	できた！ やっぱり！
工夫する	向上心 次への意欲	もっとこうしたい 次はこうしよう

《 発達や学びの連続性 》



0歳児
愛情豊かに応答的に関わる特定の大人との
スキンシップを喜び、泣く・笑うなどの表
情の変化や、喃語（なんご）などで自分の
欲求を表現します。身体面では、上下左右
に動くものを追視したり、目の前のものを
つかもうとしたり、玩具を手や口などで確
かめたりしながら探索行動を行います。



1歳児
ひとりで歩くようになり、周囲の環
境を積極的に探索します。親しい保
育者には簡単な言葉で要求や思いを
表現するようになるが、知らない人
に対しては人見知りもします。物を
見立てて楽しむようになります。



2歳児
語彙が著しく増え、自分の意志や欲
求を言葉で表出できるようになります。
また、保育者や友達と関わりを
持つて遊ぶようになりますが、自我の芽
生えにより自己主張が強くなり、イヤ
イヤと反抗することが増えます。



3歳児
「なぜ？」「どうして？」等を盛ん
に尋ね、身近な事象への興味・関
心が高まる時期です。
また、個々の遊びから保育者や友
だちと一緒に活動することが心地
よくなり、見立て遊びなどを楽し
むようになります。



4歳児
仲間意識が芽生え、友だちと誘い
合って遊びますが、ぶつかり合い
も増え葛藤体験をする時期です。
また、自分のイメージしたことを
実現するために、様々な素材や道
具を使い実現しようとしています。



5歳児
自分の身の回りのことを自分から進
んで行ったり、人の役に立つことを
喜んだりしながら、自分たちで生活
を進めていけるようになります。
また、友だちと一緒に、考えたり、
工夫したりしながら共通の目的に
向かって集団で活動することを楽し
むことができるようになります。

未来をつくる
おきなわの子どもたち

～遊びで育む「黄金っ子」の体・心・知恵～



令和5年5月
沖縄県教育庁義務教育課



保幼小の円滑な接続の推進 ～ 幼児期の学びを小学校以降へつなぐ ～

年間スケジュール表（補完版）

保幼小の育ちをつなぐ 黄金っ子 架け橋サポートガイド

ワークシート集

ガイド



ワークシート目次	
ワークシート1	基盤づくりから改善・発展サイクルの定着に至るまでのプロセスの目安
ワークシート2	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 例 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 枠
ワークシート3	期待する子ども像
ワークシート4	遊びを通した幼児の学び
ワークシート5	生活科の学習(1) はなをさかせよう 生活科の学習(2) なつがやってきた 生活科の学習(3) あきのたからものをみつけよう
ワークシート6	スタートカリキュラム週単位 例 スタートカリキュラム週単位 枠 スタートカリキュラム日単位 例 スタートカリキュラム週単位 枠
ワークシート7	先生の関わり・環境の構成(1) 離席する子

小学校1年 年間スケジュール表	
月	内容
1	1. 入学式・始業式・入学式後の生活 2. 入学式後の生活 3. 入学式後の生活
2	4. 入学式後の生活 5. 入学式後の生活 6. 入学式後の生活
3	7. 入学式後の生活 8. 入学式後の生活 9. 入学式後の生活
4	10. 入学式後の生活 11. 入学式後の生活 12. 入学式後の生活
5	13. 入学式後の生活 14. 入学式後の生活 15. 入学式後の生活
6	16. 入学式後の生活 17. 入学式後の生活 18. 入学式後の生活
7	19. 入学式後の生活 20. 入学式後の生活 21. 入学式後の生活
8	22. 入学式後の生活 23. 入学式後の生活 24. 入学式後の生活
9	25. 入学式後の生活 26. 入学式後の生活 27. 入学式後の生活
10	28. 入学式後の生活 29. 入学式後の生活 30. 入学式後の生活
11	31. 入学式後の生活 32. 入学式後の生活 33. 入学式後の生活
12	34. 入学式後の生活 35. 入学式後の生活 36. 入学式後の生活

架け橋期の カリキュラム

架け橋期のカリキュラム ○○園	
学年	内容
1	1. 入学式・始業式・入学式後の生活 2. 入学式後の生活 3. 入学式後の生活
2	4. 入学式後の生活 5. 入学式後の生活 6. 入学式後の生活
3	7. 入学式後の生活 8. 入学式後の生活 9. 入学式後の生活
4	10. 入学式後の生活 11. 入学式後の生活 12. 入学式後の生活
5	13. 入学式後の生活 14. 入学式後の生活 15. 入学式後の生活
6	16. 入学式後の生活 17. 入学式後の生活 18. 入学式後の生活
7	19. 入学式後の生活 20. 入学式後の生活 21. 入学式後の生活
8	22. 入学式後の生活 23. 入学式後の生活 24. 入学式後の生活
9	25. 入学式後の生活 26. 入学式後の生活 27. 入学式後の生活
10	28. 入学式後の生活 29. 入学式後の生活 30. 入学式後の生活
11	31. 入学式後の生活 32. 入学式後の生活 33. 入学式後の生活
12	34. 入学式後の生活 35. 入学式後の生活 36. 入学式後の生活

架け橋期のカリキュラム ○○小学校	
学年	内容
1	1. 入学式・始業式・入学式後の生活 2. 入学式後の生活 3. 入学式後の生活
2	4. 入学式後の生活 5. 入学式後の生活 6. 入学式後の生活
3	7. 入学式後の生活 8. 入学式後の生活 9. 入学式後の生活
4	10. 入学式後の生活 11. 入学式後の生活 12. 入学式後の生活
5	13. 入学式後の生活 14. 入学式後の生活 15. 入学式後の生活
6	16. 入学式後の生活 17. 入学式後の生活 18. 入学式後の生活
7	19. 入学式後の生活 20. 入学式後の生活 21. 入学式後の生活
8	22. 入学式後の生活 23. 入学式後の生活 24. 入学式後の生活
9	25. 入学式後の生活 26. 入学式後の生活 27. 入学式後の生活
10	28. 入学式後の生活 29. 入学式後の生活 30. 入学式後の生活
11	31. 入学式後の生活 32. 入学式後の生活 33. 入学式後の生活
12	34. 入学式後の生活 35. 入学式後の生活 36. 入学式後の生活



保幼こ小の円滑な接続の推進 ～ 幼児期の学びを小学校以降へつなぐ ～

幼児教育班通信 「きらり」



幼児教育班通信
きらり
令和8年度 第2号
県教育庁義務教育課
幼児教育班

幼児教育の「質向上」「保幼こ小の円滑な接続」を目指した様々な情報を紹介します。

「架け橋プログラム」と「架け橋期のカリキュラム」って違うの？

「架け橋プログラム」は、教育活動の質を高めるための全体的な計画や方針であり、幼児教育と小学校教育の接続を円滑に進めるための「枠組み」と言えます。
「架け橋期のカリキュラム」は、架け橋プログラムという大きな方針のもと、各施設や地域が連携して具体的な教育内容を構築していくための「設計図」のようなものです。



「架け橋プログラム」の具体的内容		「架け橋期のカリキュラム」の作成にあたってのポイント	
幼児教育	小学校入学に備えるため、幼児が主体的に遊ぶ中で、10の姿が育まれるよう環境を構成する。	遊びと学びの連続性	幼児期の主体的な遊びを大切にしつつ、小学校の教科等につながる方法・考え方や学びの芽を育むよう、教育内容を系統的に編成する。
小学校教育	幼児教育の成果を小学校につなぐため、小学校教員が幼児の発達や学びの実態を理解し、主体的な学びを促す授業改善を行う。	子どもの姿の共有	幼児教育施設と小学校教員が、子どもの育ちや学びの姿を共有し、一人ひとりの発達段階に応じた支援ができるようにする。
連携・協働	幼児教育・小学校教育関係者が、互いの教育観や教育内容を共有し、連携体制を構築する。	具体的な実践例の検討	地域の特性や子どもの実態に合わせて、具体的な活動内容や指導方法を共同で検討する。

「違い」まとめ

項目	架け橋プログラム	架け橋期のカリキュラム
定義	幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図るための、組織的・系統的な取り組み	架け橋プログラムを具体的に実施するための、教育内容や指導計画
関係性	広い概念(方針、枠組み)	狭い概念(具体的な教育内容)

幼児教育班通信
きらり
令和8年度 第10号
県教育庁義務教育課
幼児教育班

幼児教育の「質向上」「保幼こ小の円滑な接続」を目指した様々な情報を紹介します。

令和8年度『架け橋プログラム』促進に向けたスタートカリキュラム訪問⑥

継続されてきた園との協働！「慣れた環境」で育む安心感と主体性(読谷小学校)

令和8年4月27日、読谷村立読谷小学校にてスタートカリキュラムの参観を行いました。入学式から3週目に入った1年生は、4クラスという大規模校でありながら非常に落ち着いた様子で、にぎやかでありながらも穏やかな表情で、安心感に満ちた楽しい朝の時間を過ごしています。幼児教育の視点を巧みに取り入れ、児童一人ひとりの主体性を引き出している同校の取り組みの良さを紹介します。

1. 園の先生方と「春休みから協働した」徹底的な環境構成

同校の最も大きな特色は、受け入れに向けて隣接する幼稚園の先生方と話し合いを重ね、春休み期間中に協働で教室やオープンスペースの環境構成を行った点にあります。児童の目の高さに合わせた絵本の掲示や、園でよく見られる低いテーブルの配置など、子ども目線に立った細やかな工夫が随所に見られます。また、公共施設で使わなくなった備品を活用するなど、職員が工夫を重ね、子どもたちの学びを支える環境づくりに主体的に取り組む点も本校の良さです。



2. 多彩な選択肢と自律を促す「遊びのコーナー」の充実

教室内外には、さんすうつきみ、折り紙、段ボール、金魚すくい、読書など、児童が各々やりたいことを選択して没頭できる豊富な遊びの場が設定されています。テーブルごとに遊びの種類を区切ることで活動に集中しやすくなっており、ウォールポケットの活用など片付けや収納にもルールが整っているため、児童が自律的に行動できています。これから学習するひらがなや「10の仲間」の掲示など、日常生活の中で自然と次の学習に触れられる工夫も凝らされています。



3. 受容的な姿勢が生む「ゆとりある時間」と主体的な発信

先生方も児童も慌てる様子がなく、非常にゆったりとした時間が流れ、この朝時間には6年生も1年生に関わり安心感づくりにつながっています。先生方は児童に対して常に受容的な姿勢で対応し、挨拶を交わしながら温かく見守っています。「すたあとのうた」で先生も一緒にダンスを踊って場を盛り上げる一方、教科書を忘れた児童には電子黒板を活用してさりげなく支援するなど、安心感の醸成に努めています。こうした環境のもと、児童は朝の会などで自分の思いや経験を安心して伝えることができ、主体的に発信する土台が育まれています。



読谷小学校の実践から、異なる園から集まった子どもたちが、互いにしっかりとコミュニケーションをとりながら生き生きと過ごす姿を見ることができました。これも、送り出す園側と受け入れる小学校側が「子どもたちがスムーズに移行できるようにしたい」と共通の思いを持ち、組織的に連携を深めてきた成果と言えます。

また、「自分の思いや考えを持つ」「主体的に考えて行動する」といった目指す子ども像を共通理解し、一貫性のある指導を展開していることも見る事ができました。読谷小学校区の取り組みは、今後の保幼こ小接続を推進する上で、非常に示唆に富む素晴らしいモデルとなっています。

南城市教育指導課 幼児教育班通信
きらり
令和8年度 第14号
県教育庁義務教育課
幼児教育班

幼児教育の「質向上」「保幼こ小の円滑な接続」を目指した様々な情報を紹介します。

保幼こ小接続を見据えた「合科」の授業作りについて②

1. 生活科を中核とした合科的な指導(例①)

◎単元計画:「あきをたのしもう!あきのフェスティバル」(生活科・国語科・算数科・図画工作科)



◎単元計画例

【第1次:秋を見つけよう・集めよう】(計6時間)	
生活科(4)	公園や校庭で秋の自然(ドングリ、松ぼっくり、落ち葉)を五感で探して集める。
算数科(2)	集めたドングリや落ち葉を、色や形、大ききで分類したり、10のまとまりを作って数えたりする。(「10より大きいかず」の案地・活用)
【第2次:秋のたからものでおもちゃを作ろう】(計10時間)	
生活科(2)	集めた材料でどんな遊びやおもちゃができるか、みんなでアイデアを出し合う。
図画工作科(6)	ドングリごま、松ぼっくりのけん玉、落ち葉のお面、ドングリ迷路など、材料の形や特徴を生かして工夫して作る。
国語科(2)	おもちゃの作り方や、工夫したところをメモに書く
【第3次:あきのフェスティバルを開こう】(計12時間)	
国語科(4)	お店屋さん(おもちゃのブース)の準備。お客さん(友達や幼稚園・保育所の園児、2年生など)へ向けた「招待状」や、遊び方を説明する「看板・説明カード」を書く。
生活科(4)	お店屋さんとお客さんに分かれて「あきのフェスティバル」を開催する。お互いの遊びの工夫を認め合う。
算数科(2)	ゲームの景品やドングリのチケットをやり取りする。(簡単な足し算・引き算や、空き箱の形を生かしたゲームコーナーの設置)
国語科(2)	フェスティバルで楽しかったこと、頑張ったことを振り返り、作文(日記)に書く。

令和8年度 幼児教育の理解・発展推進事業 (沖縄県幼児教育研究協議会)

<協議主題1>

指導と評価に生かす記録について

(那覇地区:浦添市 国頭地区:名護市)

<協議主題2>

幼児教育と小学校教育の接続による教育の充実
について

(中頭地区:うるま市 島尻地区:南風原町
宮古地区:宮古島市 八重山地区:石垣市)

<協議主題3>

特別な支援を必要とする幼児の状態等に応じた
計画的、組織的な指導の在り方について

【各地区の協議会日程】

- 国頭地区：名護市 …… 令和8年10月2日（金）
- 中頭地区：うるま市 …… 令和8年11月18日（水）
- 那覇地区：浦添市 …… 令和8年10月29日（木）
- 島尻地区：南風原町 …… 令和8年10月15日（木）
- 宮古地区：宮古島市 …… 令和8年11月11日（水）
- 八重山地区：石垣市 …… 令和8年11月17日（火）

幼児期の大切な学びが分かる動画シリーズ

幼児教育施設・小学校での入園・入学説明会、保護者会、研修等や自治体主催の教職員研修など幅広く御活用ください。※本動画の複製、転載、引用等の際には出典を明記する必要があります。

動画
コンテンツ



幼児教育は何のため？（約2分）

✓ 幼児期の大切な学びが分かる動画

<https://youtu.be/MExUaZ6M3G0>



「遊びは学び」ってどういうこと？（約7分）

✓ 幼児教育施設においては、子供たちに遊びを通して資質・能力を育てていること等について、子供たちの遊んでいる姿や幼児教育施設と小学校の先生のインタビューを

交えながら解説しています。

<https://www.youtube.com/watch?v=UxfAl3XWfGo>



「学びの芽」を育む園の工夫って？（多様な遊び編）（約9分）

✓ 幼児教育施設では、多様な遊びの中で、どのように子供たちの資質・能力を育てているのか、園長先生とペンちゃんがオムニバス形式で解説しています。

<https://youtu.be/VNjOwpuDd44>



「学びの芽」を育む園の工夫って？（どろだんご遊び編）（約7分）

✓ どろだんご遊びの中で、どのように資質・能力が育てられているのか、解説しています。

<https://youtu.be/VuIP2CUKq-U>



幼児教育と小学校教育がつながるってどういうこと？

幼児教育と小学校教育の接続について、幼児期の遊びを通した学びと小学校の各教科等の学習のつながりを見える化し、幼保小の相互理解を促進するための参考資料です。

第1章「幼児教育と小学校教育」においては、それぞれの教育の特徴等を解説し、第2章「各教科等における学びのつながり」においては、幼児期の遊びを通した学びと各教科等の学習（小学校一年生で学習する全ての各教科等）とのつながり等を解説しています。

參考資料
(冊子)

幼稚園等の
遊びを通した
学び

小学校の 授業展開例



幼児教育及び小学校教育関係者向け参考資料

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youchien/mext_02697.html (文部科学省HP)



書籍情報はこちらから

https://www.toyokan.co.jp/products/5659?_pos=1&_sid=6530f6695&ss=r (東洋館HP)



専門講話への架け橋：言葉の育ちはどう繋がり、深まるのか？

**演題：「幼児教育と
小学校教育における
言葉の指導の接続」**

講師：國學院大學 教授 吉永 安里 様

先生方の日々の実践や子どもたちの顔を思い浮かべながら、
明日からの「言葉掛け」と「見取り」のヒントをぜひお持ち帰りください。

ご清聴ありがとうございました



沖縄県教育庁義務教育課 幼児教育班